

平成 24 年度 全国私立中学高等学校 私学経営研修会

実施案内

《主催》一般財団法人日本私学教育研究所

(※平成 24 年 4 月 1 日に移行しました)

《後援》茨城県・水戸市・茨城県私学協会・日本私立中学高等学校連合会

研究のねらい

明日へと向かう私学の教育と経営の展望

－ 困難に打ち克つ教育・募集対策・人材育成 －

東日本大震災からはや一年が経過し復興が進むなか、わが国には諸課題が山積している。景気の減速悪化が世界規模で進み、政局が一層混迷を深めるなかで、現状を回復し課題を打破するのは容易ではない。高校無償化の見直し論など教育政策についても閉塞感は否めないが、私立高校への就学支援金制度は私学に通う生徒とその保護者の選択肢を増やすための一助となり、生徒募集面で私学が良い結果を生んでいる地域もある。その一方で、公立高校授業料の実質無償化によって、学納金を負担する私学の保護者の不公平感が高まり、公私間・地域間格差が広がっている。さらに、一部自治体で導入された私立高校授業料のキャップ制は私学の自主性・独自性を脅かしかねず、義務教育段階の私学助成減額等私立中学校の生徒募集・経営面で逆風となる政策の余波は、近隣他府県の児童生徒と保護者にも及ぶ。今後は二十年振りに中央で議論の進む高等学校教育改革や教員養成方策の行方、東京大学に端を発する国際競争力強化のための「大学秋入学」提言等、私立中学高等学校にとって注視すべき動きが起きている。地震・津波や台風等の自然災害を教訓に、児童生徒にとって安全な防災対策のあり方と危機管理能力が学校に問われる中、私学への通学時間等も保護者にとって学校選択の大きな要因となる中で、私学の経営環境はより厳しさを増している。

これら幾多の出来事は、確かに絶望や苦難をもたらしたが、同時にこれからの生き方・進み方を私たちに問いかけ、新たな価値観を真剣に考えるきっかけを与えた。人々の勤勉さ、ひたむきさ、芯の強さは、今後の“人財立国”日本の発展の礎となるだろう。わが国の未来を拓く人づくりをリードするのは、私立学校に課された責務である。

これからの私立学校には、希望を持って未来を目指し、柔軟に特色を活かした教育の研究実践に努めるとともに、生徒・保護者等のニーズを見極め、学校の危機対応力を高めていくことが欠かせない。より効果的な生徒募集対策に創意工夫を凝らし、知恵を出し合い、私学に求められる教育を提供できる教員の育成に取り組み、グローバル社会で強く生きていく子どもたちを世に送り出すべく学校運営に努めることで、この局面を乗り切りたい。

本年度の研修会では、困難に直面する私立学校とその生徒たちの“明日”を築くための【教育と経営】【募集対策】【人材育成】を中心に報告・討議を進める。中央と地方からの情勢報告に加えて、各地からの参加者が交流を深め、各校の現状と課題を語り合い、抱える悩みを共有し、解決のヒントを模索できるよう、グループ討議等の時間枠を拡げ、意見交換と懇談の時間を設けた。さらに東北3県に次ぐ震災被害を受けられた茨城県の【学校視察】を実施する。逆境に立ち向かい打ち克つことのできる私学人を目指し、茨城の地に集い、情報と経験を共有し、前向きな意見・提言が発信され、参加者が持ち帰る本研修会の成果が各地私学の更なる活性化に資することを期待している。

会 期

平成24年6月7日(木)～8日(金)の2日間

会 場

茨城県 水戸市 ホテルレイクビュー水戸

〒310-0015 茨城県水戸市宮町 1-6-1【JR 水戸駅南口徒歩 3 分】TEL.029-224-2727

募集人員

150名

参加対象

理事長、校長、副校長・教頭、事務長またはこれらに準ずる管理職の方

基調講演

演題 「自分づくり 自己づくり」と経営

講師 高野 英 一 タカノフーズ株式会社取締役会長

《講師プロフィール》

高野 英一 (たかの えいち) 昭和 15 年生まれ。茨城県小美玉市(旧 小川町)在住。昭和 34 年 3 月茨城県立水戸第一高等学校卒業。昭和 39 年 3 月早稲田大学第一政治経済学部経済学科卒業。同年 4 月有限会社おかめ納豆本舗入社。昭和 56 年 5 月株式会社おかめ納豆本舗代表取締役。昭和 60 年 5 月社名変更によりタカノフーズ株式会社代表取締役。昭和 61 年 3 月財団法人茨城保護観察協会理事。平成 2 年 4 月全国納豆協同組合連合会専務理事。平成 5 年 12 月財団法人タカノ農芸化学研究助成財団理事長。平成 15 年 10 月茨城県教育委員会委員長。平成 22 年 3 月タカノフーズ株式会社取締役会長。同年 11 月いばらき教員応援団理事長。趣味は読書とゴルフ。座右の銘は「自分づくり 自己づくり」。

基本日程

※プログラム・内容は今後変更となる場合があります。

	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
		30		30	30		30		30		30
6月7日 (木)	受付	開会式	講演 中高連会長	基調講演	昼食	報告 中高連	兵庫県 日私教研	パネル・ディスカッション			教育懇談会
6月8日 (金)	意見交換会 (グループ討議)			総括	昼食	【学校視察】A(水戸市内)コース ①茨城中学高校～②水戸女子高校					
				昼食	【学校視察】B(日立市～水戸市)コース ①茨城キリスト教学園中学高校～②水城高校						

－平成 24 年－
一般財団法人日本私学教育研究所は、
私学経営研修会の開催をとおして
被災地の私立学校の復興を支援していきます

《全国の私学が力を合わせて、想いを一つに》

今年の私学経営研修会は、茨城県・水戸市において開催いたします。震災被害が甚大であった東北三県に目が向けられることが多いなかで、茨城県の私立学校もまた大きな被害を受けられました。

しかし、大変な状況であるにもかかわらず、今回の私学経営研修会の開催地となることを快く引き受けて下さいました。茨城県の私立学校と関係者に対して心よりお礼申し上げます。

一人の私学人として、全国の私立中学高等学校の皆さんが、今年、茨城の地に立ち、ご自身の目で県の経験と現状を体感し、私学人の想いを共有することによって、少しでも県私立学校を側面から支えることができればとの思いです。

とくに研修会のプログラムとして水戸市・日立市の私立中学高等学校の協力を得て、学校視察を2コース用意しています。

全国の私学人が心をもつことにすることはじめて私立学校は未来を拓くことができるのです。

多くの私学の先生方が、全国から茨城県・水戸市にお運び下さるよう心よりお願い申し上げます。

なお、財団法人日本私学教育研究所は、平成 24 年 4 月 1 日「一般財団法人日本私学教育研究所」に移行いたしました。これを機に、『私立学校のシンクタンク』として一層皆様のお役に立つよう努力を重ねてまいります。

一般財団法人日本私学教育研究所
 私学経営専門委員長 實吉 幹夫

《 研修会日程・プログラム 》 ※プログラム・内容は変更となる場合があります。

【1日目】6月7日(木)

〈研修会会場〉ホテルレイクビュー水戸 2F 飛天(予定)
 【司会・講師紹介等】鈴木秀一 一般財団法人日本私学教育研究所事務局長

09:00-09:30	受付
09:30-10:00	開会式 ◆主催者代表挨拶 吉田 晋 一般財団法人日本私学教育研究所理事長 ◆来賓祝辞 橋本 昌 茨城県知事(予定) ◆来賓祝辞 高橋 靖 水戸市長(予定) ◆開催県代表挨拶 廣瀬 和喜 茨城県私学協会会長 ◆役員・専門委員紹介 (正副理事長、私学経営・教育制度専門委員等) ◆研修会運営方針説明 實吉 幹夫 一般財団法人日本私学教育研究所私学経営専門委員長
10:00-11:00	講演 ◆演題 「最近の教育政策と私学情勢」 ◆講師 吉田 晋 日本私立中学高等学校連合会会長 一般財団法人日本私学教育研究所理事長
11:00-12:30	基調講演 ◆演題 「『自分づくり 自己づくり』と経営」 ◆講師 高野 英一 タカノフーズ株式会社取締役会長
12:30-13:30	《昼食》
13:30-14:30	報告Ⅰ ◆テーマ 「教育制度改革の動向と私学の理念」 ◆報告者 實吉 幹夫 日本私立中学高等学校連合会教育制度委員長 一般財団法人日本私学教育研究所副理事長
14:30-15:00	報告Ⅱ ◆テーマ 「茨城県の私学振興」(仮) ◆報告者 山田 春男 茨城県総務部総務課長
15:00-15:30	報告Ⅲ ◆テーマ 「教育改革と私学の人材育成 ー日私教研の取り組みー」 ◆報告者 中川 武夫 一般財団法人日本私学教育研究所所長
15:30-17:30	パネル・ディスカッション ◆テーマ 「明日へと向かう私学の教育と経営の展望」 ー困難に打ち克つ教育・募集対策・人材育成ー ◆パネリスト 森 征一 常磐大学・常磐短期大学学長 工藤 誠一 聖光学院中学高等学校理事長・校長 野原 明 教育ジャーナリスト ◆コーディネーター 木内 秀樹 東京成徳大学中学高等学校校長
18:00-19:30	教育懇談会 1. 開会 2. 主催者挨拶 山中 幸平 一般財団法人日本私学教育研究所副理事長 3. 来賓挨拶 茨城県(予定) / 水戸市(予定) 4. 乾杯 茨城県私学協会関係者(予定) ～(懇談)～ 5. 次年度開催県代表挨拶 6. 閉会 * 円卓・着席形式。各グループ(1卓約10名)は、2日目の意見交換会(グループ討議)の希望テーマ(参加申込書に記載し参加者が第2希望まで選択)に基づいてメンバー分けします。 * 私学経営・教育制度専門委員、日私教研・中高連役員等が各卓に着席し「世話役」として自己紹介・懇談・交流並びに翌日グループ討議の進行を促します。

09:00-11:50	<p>意見交換会 (グループ討議～全体会) テーマ「明日へと向かう私学の教育と経営の展望」 —困難に打ち克つ教育・募集対策・人材育成—</p> <p>【総合進行役】 長 塚 篤 夫 一般財団法人日本私学教育研究所 教育制度専門委員長</p> <p>【世話役】 實 吉 幹 夫 私学経営専門委員長 鈴木 康 之 私学経営副専門委員長 木内 秀 樹 私学経営専門委員 廣瀬 和 喜 私学経営臨時委員 真城 義 麿 教育制度専門委員 新田 光之助 教育制度専門委員 野原 明 教育制度客員研究員 山中 幸 平 副理事長 中川 武 夫 所長 (ほか日私教研・中高連役員等が協力予定)</p>
09:00-11:00	<p>1. グループ討議 (2 時間) 《重点テーマ》 ①教育理念と経営課題、②学校改革、③リーダーと組織活性化、 ④教員の人材育成、⑤グローバル人材育成、⑥特色教育、 ⑦募集対策、⑧進路対策、⑨教育課程、⑩安全管理・危機対応</p> <p>☆グループ討議 ①～⑩の重点テーマを基にグループ編成 (各 10 名程度：前日の教育懇談会と同グループ)。各グループの世話役がキーマンとなり、重点テーマを中心に派生する課題等について参加者主体による報告討議を促します。</p>
11:00-11:50	<p>2. 全体会 (50 分) ☆ 分科会報告 (40 分) … 分科会の各グループ世話役による報告 (例：4 分×10 テーマ) ☆ 意見交換会 (10 分) … 分科会報告・研修会全体を受けて参加者による意見交換</p>
11:50-12:00	<p>総括 實 吉 幹 夫 一般財団法人日本私学教育研究所私学経営専門委員長</p>
A12:00-13:00 B12:00-12:30	<p>《昼食》 ※学校視察 A・B コースによって時間が異なります。</p>
A13:00-15:45 頃 B12:30-16:35 頃	<p>学校視察 バスにて各 2 校を視察する A・B コースから選択 (各校の視察… 1 時間)</p> <p>A 水戸市内コース (約 3 時間) ① 茨城中学高等学校 (共学校・中高一貫教育校) [水戸市八幡町 16-1] ② 水戸女子高等学校 (女子校・高校単独校) [水戸上水戸 1-2-1] 【スケジュール概要】 13:00-13:15 ホテル出発、バスで①へ 13:15-14:15 ①茨城中学高等学校視察 (学校紹介、授業・施設設備見学等) 14:15-14:30 バスで②へ 14:30-15:30 ②水戸女子高等学校視察 (学校紹介、授業・施設設備見学等) 15:30-15:45 バスでホテルへ帰着後、解散</p> <p>B 日立市～水戸市コース (約 4 時間) ① 茨城キリスト教学園中学高等学校 [日立市大みか町 6-11-1] (共学校・中高一貫教育校) ② 水城高等学校 (共学校・高校単独校) [水戸市白梅 2-1-45] 【スケジュール概要】 12:30-13:30 ホテル出発、バスで①へ 13:30-14:30 ①茨城キリスト教学園中学高等学校 視察 (学校紹介、授業・施設設備見学等) 14:30-15:30 バスで②へ 15:30-16:30 ②水城高等学校視察 (学校紹介、授業・施設設備見学等) 16:30-16:35 バスでホテルへ帰着後、解散</p> <p>※ 時間等によっては授業見学ができない場合があります。</p>

講師・指導員（順不同）

高野英一（タカノフーズ株式会社 取締役会長）
森征一（常磐大学・常磐短期大学 学長）
山田春男（茨城県総務部 総務課長）
工藤誠一（聖光学院中学高等学校 理事長・校長）
吉田晋（富士見丘中学高等学校 理事長・校長）
山中幸平（学校法人山中学園 理事長）
中川武夫（淑徳SC中等部高等部 顧問）

専門委員・客員研究員・指導員（順不同）

實吉幹夫（東京女子学園中学高等学校 理事長・校長）
長塚篤夫（順天中学高等学校 校長）
廣瀬和喜（学校法人東洋大学 理事）
鈴木康之（水戸女子高等学校 理事長・校長）
木内秀樹（東京成徳大学中学高等学校 校長）
眞城義麿（大谷中学高等学校 前校長）
新田光之助（筑陽学園中学高等学校 理事長・高校長）
野原明（文化学園大学杉並中学高等学校 特別顧問・名誉校長）
鈴木秀一（一般財団法人日本私学教育研究所 事務局長）

参加申込み方法

- 1) 申込 下記の「参加申し込みの注意」をよくご覧になった上でお申し込み下さい。
- 2) 申込先 「一般財団法人日本私学教育研究所 私学経営研修会担当」宛
〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-3-8 市ヶ谷UNビル 6階
電話 03(3222)1621 FAX 03(3222)1683
ホームページ <http://www.shigaku.or.jp/>
- 3) 申込締切日 平成24年5月25日（金）必着
申し込みは先着順に受け付けますので募集人員をこえた場合は、期日前でも締め切らせていただくことがあります。

参加費

29,000 円（昼食 2 回・教育懇談会費・学校視察費を含む。※宿泊費別）

参加確認証

参加申込書受付後、参加確認証をご本人宛にお送りいたしますので、研修会当日受付にご提示下さい。

個人情報の取扱いについて

当研究所では、参加される先生方の個人情報は、厳重に管理・保護の上、その取扱いについては、法令その他の規範を遵守し、細心の注意を払います。参加申込書にご記入いただく個人情報は、参加確認証および研修会参加のために必要な書類の送付、実施要項の名簿の作成、当研究所の研修会開催等の情報の送付、また何らかの理由で研修会に参加される先生方に連絡する必要がある場合にのみ利用いたします。

参加申し込みの注意

1. 参加申込書に必要事項を記載の上、「一般財団法人日本私学教育研究所 私学経営研修会担当」宛に郵送または FAX でお送り下さい（申込後 2 週間以内に確認証が届かない場合は電話で照会下さい）。
2. 参加申込書受付後、「参加確認証」と「参加費等請求書（コンビニ払込用紙）」をお送りいたします。参加費は、必ずこの払込用紙にて、指定されたコンビニエンスストアでお振り込み下さい。なお、参加費等の領収書は「払込受領証」をもって代えさせていただきますので、大切に保管して下さい。
3. 研修会への参加申込み後の変更・取り消しについては、必ず、FAX にて日本私学教育研究所へご連絡下さい。不参加の場合、返金の精算は研修会終了後約 1 カ月かかりますので、あらかじめご承知おき下さい。なお、参加費振り込み後の場合は、事務手数料として 1,000 円を差し引いて返金いたしますのでご了承下さい。また、6 月 4 日（月）15 時 00 分以降に不参加の連絡があった場合、いったん納入された参加費は返金できません。研修会資料等の発送をもって代えさせていただきます。

宿泊のご案内

1. 宿泊の申し込みについて

A「ホテルレイクビュー水戸」(研修会場)またはB「ダイワロイネットホテル水戸」のご予約を承ります。宿泊の申し込みは、「宿泊申込書」(参加申込書の下欄)にご記入のうえ、「一般財団法人日本私学教育研究所私学経営研修会担当」宛にご郵送またはFAXでお申し込み下さい。

申込内容確認後、「宿泊予約確認書」(参加確認証の下欄)を送付いたします。

お申し込みは先着順で受付いたします。部屋数に限りがありますので、申込締切日(5月25日)前に満室となった場合には、期日前でも締め切らせていただくことがあります。

【※注】ホテルレイクビュー水戸は満室となりました。宿泊希望の方は、ダイワロイネットホテル水戸(研修会場ホテルレイクビュー水戸の向かい側)をお申し込み下さい。

※個人情報に関しては、当研修会宿泊関連の情報以外の利用は一切いたしません。

ホテル名	部屋タイプ	料金	備考	チェックイン	チェックアウト
A. ホテルレイクビュー水戸※注	シングル1名	7,980円	1泊・朝食付、	15時	10時
B. ダイワロイネットホテル水戸	1室利用	8,100円	税・サービス料込み	14時	11時

① 朝食が不要の場合でも特別料金の為、返金できませんのでご了承下さい。

② 喫煙希望の方は、その旨ご記入下さい。禁煙室は先着順となります(喫煙室の消臭処理となる場合があります)。

③ ツイン利用希望の方は、備考欄にその旨と同室者のお名前もご記入下さい。

2. 宿泊代金のお支払い方法

宿泊代金は、各ホテルにて、直接ご精算ください。

3. 宿泊の変更・取り消しについて

必ず、FAXで日本私学教育研究所へご連絡下さい。

取り消しの時期によっては、キャンセル料金が発生することがあります。

【お申込み・お問い合わせ先】

一般財団法人日本私学教育研究所 (私学経営研修会担当)

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-3-8 市ヶ谷UNビル6階

電話 03(3222)1621 FAX 03(3222)1683

URL <http://www.shigaku.or.jp/>

研修会場・宿泊 A(ホテルレイクビュー水戸)のご案内

〒310-0015 茨城県水戸市宮町1-6-1 TEL.029-224-2727 FAX.029-225-0737



◆交通機関

◇JR常磐線 水戸駅南口下車 徒歩約3分

◇常磐自動車道 水戸ICから約30分、北関東自動車道 水戸南ICから約15分

*無料駐車場(240台)完備

※詳細はホテルレイクビュー水戸ホームページ <http://www.hotellakeviewmito.com/access.htm> をご覧下さい。

宿泊 B(ダイワロイネットホテル水戸)のご案内

〒310-0015 茨城県水戸市宮町 1-7-44 TEL 029-303-3311 FAX 029-303-3312

※研修会場「ホテルレイクビュー水戸」の向かい側です



- ◆交通機関
 - ◇JR 常磐線 水戸駅南口直結 徒歩約1分
 - *南口のデッキとホテル3階が直結、フロントへはエレベーターにて6階へ。
 - ◇常磐自動車道 水戸ICから約20分、北関東自動車道 水戸南ICから約15分
 - *自走式駐車場 1泊1台 500円・全415台 車高2.1mまで
 - *駐車場はホテルの裏手にあります。駐車場からホテル棟への連絡通路は1階・3階になります。

※詳細はダイワロイネットホテル水戸ホームページ <http://www.daiwaroynet.jp/mito/access.html> をご覧下さい。

平成 24 年度私学経営研修会 《視察先学校紹介》

【A（水戸市内）コース】

① 茨城中学高等学校 [理事長 種田 誠 校長 大窪 範光]

水戸藩の藩校であった弘道館の流れをくみ、昭和 2 年に男子校として創立された。平成 7 年に男女共学・中高 6 年一貫制度を導入、平成 20 年から併設型中高一貫教育校として、伝統ある不動の教育理念に基づく真摯な進路指導を実践する。建学の精神である『報恩感謝』（社会報恩のため質実剛健で社会奉仕の念の強い人物の育成）の理念に基づく「人づくり」の人間教育を進めており、生徒一人ひとりの特性を見極め、「人が人を育む」教育の原点に照準をあて、生徒主体の教育制度の整備に努める。大学進学実績では特に医歯薬系大学の合格者数が年々増加している。学力の養成とともに、体験重視の学校行事等の教育プログラムや部活動においてフレンドシップ・スポーツマンシップを育みつつ、強靱な精神を磨き上げる文武両道の学校生活を提供している。23 年に新校舎が完成した。

☆校訓「真理と正義を愛する」「強健な身体と不屈の精神を養う」「協同友愛の念を厚くする」

② 水戸女子高等学校 [理事長・校長 鈴木 康之]

昭和 6 年、女性の社会進出が進む時代を予見し、女子実業教育確立を目指し創立された。『社会に貢献する女性の育成』を建学精神に、生徒の未来を輝かせる 3 つの約束として、①心豊かな女性の育成、②学力向上、③進路決定を教育理念に掲げている。生徒一人ひとりが目的と向上心を持って楽しい学校生活を送ることができるよう、平成 17 年に商業科 2 コースと普通科 3 コースから成るコース制を導入した。「品格ある女子教育」を伝統として実践し、礼儀作法等の指導、豊かな心を育む土曜講座、各生徒に合わせた充実したサポート体制をとる。「真面目な生徒が快適に過ごすことができる女子校」として 7 年連続で生徒数が増える中で 23 年度に創立 80 周年を迎えた。

☆校訓「愛敬を重んじ 和合を尊い 明朗人に接し 勤勉事に当たれ」

※新校舎建設中（年内完成予定）のため、大震災時の学校の対応の説明および仮設校舎の見学となります。

【B（日立市～水戸市）コース】

① 茨城キリスト教学園中学高等学校 [理事長 金山 仁志郎 校長 鈴木 龍夫]

学園は戦後混乱期のさなか、昭和 23 年にキリスト教の精神に基づいた全人教育を目指して設立され、高校は昭和 24 年に、中学校は昭和 37 年に開校された。大学院まで備えた総合学園として「キリスト教精神に基づく人間形成」の理念を共有し、一貫して生徒・学生の学力向上と人格形成に取り組む。平成 16 年に女子校であった中学校の共学化とともに完全中高一貫 6 年制教育を開始、平成 20 年に併設型中高一貫教育校となった。教育・社会・国際問題等の諸課題に応えるべく「心豊かで実力のある自立した国際人の育成」を目指し、英語教育・国際教育交流に注力する。進学・学習面に加え、緑のチャペル、広大なキャンパス等教育環境に恵まれている。

☆学園教育理念「キリスト教の精神に基づき、謙虚に真理を追究し、公正を尊び、真の隣人愛をもって人と社会に進んで奉仕し、人間の福祉と世界の平和に貢献する人間の育成を目的とする」

② 水城高等学校 [理事長 山野内 五郎 校長 山野 隆夫]

昭和 39 年創立時は男子校としてスタートし、平成元年に男女共学に移行した。建学の精神「洗心以て自己の確立を期す」を受けて、「道德観の向上なくして学力の向上なし」を信念に学習効果を高めている。特進 4 コース制をとり、大学進学実績は現役合格率 8 割を超える。部活動や学校行事の活性化にも力を入れ、ゴルフ部・空手道部・アーチェリー部・男子駅伝部は全国大会出場常連の強豪校で、平成 22 年度に硬式野球部が甲子園初出場を果たし、23 年春の選抜大会に出場した。これらの学習効果は、3 年間で目標を達成させようというきめ細かな指導体制によるもので、高い規範意識と規律ある生活習慣を求めるとした生活指導がその支えとなっている。県内高校初の人工芝グラウンド・人工芝テニスコート等、施設設備も充実している。

☆校訓「常に感謝の気持ちで 敬愛の心を培い 科学を重んじ 創意を貴び 不屈不撓 進んで事に当り 奉仕の喜びを 感得しよう」

FAX 03-3222-1683

平成24年度 全国私立中学高等学校
私学経営研修会 参加申込書

平成24年 月 日

① 参加者氏名	(ふりがな) _____			〔 男 〕 〔 女 〕
② 学校名	学校区分	1. 中学校 2. 高等学校 3. 中高併設校 4. 大学付属校 A. 男子校 B. 女子校 C. 共学校 (含む男女別学校)	③ 職名	
	〒 _____			
④ 学校住所	TEL () FAX ()			
⑤ 参加確認証送付先 <small>※上記の参加者ご本人、または学校住所以外への送付を希望する場合にご記入ください。</small>	〒 _____ (受取人氏名 _____)			
⑥ 参加者連絡先※	※緊急の場合、確実に連絡がとれる携帯電話番号・自宅電話番号等をご記入下さい。			
⑦ メールアドレス	<div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%;"></div> <small>※今後、当研究所からの研修会のご案内等のメール配信をご希望の方は、メールアドレス（携帯電話のメールは不可）をご記入下さい。（過去に当研究所の研修会に参加し、申込書等にご記入いただいた方は、すでに登録されておりますので、記入の必要はありません。アドレス変更の場合はご記入下さい。）</small>			
⑧ 意見交換会【6/8(金)午前】の「重点テーマ」について ※下記「重点テーマ」から第1希望、第2希望のテーマを選んで、枠内の数字に○を付けてください。				
第1希望	1 . 2 . 3 4 . 5 . 6 7 . 8 . 9 . 10	第2希望	1 . 2 . 3 4 . 5 . 6 7 . 8 . 9 . 10	※ 他の希望テーマがあれば参考にご記入ください
☆重点テーマ（グループ討議の主テーマ） 1. 教育理念と経営課題 2. 学校改革 3. リーダーと組織活性化 4. 教員の人材育成 5. グローバル人材育成 6. 特色教育 7. 募集対策 8. 進路対策 9. 教育課程 10. 安全管理・危機対応 <small>※意見交換会（グループ討議）のグループ分けの参考としますので、必ず第2希望までお選び下さい。調整の結果、必ずしも希望通りとならないこともあります。希望テーマの記入がない場合、その他の希望テーマに記入の場合、グループ分けは当方で適宜調整いたします。</small>				
⑨ 学校視察【6/8(金)午後】の「視察先学校」について ※下記「視察A・Bコース」から第1希望、第2希望を選んで、枠内のAまたはBに○を付けてください。				
第1希望	A 水戸市内コース (茨城中学高校～水戸女子高校)	第2希望	A 水戸市内コース (茨城中学高校～水戸女子高校)	※不参加(○付↓)
B 日立市～水戸市コース (茨城キリスト教学園中学高校～水城高校)	B 日立市～水戸市コース (茨城キリスト教学園中学高校～水城高校)			
<small>※視察コースは必ず第2希望までお選び下さい。原則先着順としますが、定員調整の結果、希望通りとならないこともあります。不参加の場合は「不参加」欄に○をご記入下さい。希望のご記入がない場合は不参加とさせていただきます。(参加費用は同額です)</small>				
⑩ 通信欄				
【宿泊申込書】 《ダイワロイネットホテル水戸》 ☆ホテル宿泊希望の場合は、下欄の希望日に○を付けてください。				
ホテル名	ダイワロイネットホテル水戸 (喫煙室・禁煙室)	宿泊日	6月6日(水) 《前泊》	6月7日(木) 《当日泊》
			喫煙室 (番号を○囲み)	
			1.喫煙室を希望 2.禁煙室を希望 3.どちらでもよい	
<small>※シングルルーム1名1室利用・1泊朝食付・税サービス料込(1泊 8,100円) ※ホテルレイクビュー水戸は満室締切 ※禁煙室は先着順(喫煙ルームの消臭処理となる場合があります) ※連泊時は同一ホテルでお申込み下さい</small>				
【備考欄】 (ツイン利用希望の方は、その旨と同室者のお名前もご記入下さい。)				

※郵送またはFAXでお申し込み下さい。 受付番号 _____
 ※複数名の参加の場合は、恐れ入りますが、本参加申込書をコピーしてご記入下さい。